



国際ロータリー 第2780地区 第9グループ
湯河原ロータリークラブ 週報



2022年9月2日(金) 第2887回例会 形式:対面 天候:曇り時々雨
合唱:君が代、それでこそロータリー、四つのテスト

会長 青木 義美 幹事 室伏 学

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

青木 義美

先週はガバナー公式訪問、ご苦労さまでした。ガバナーもAG もとても気さくな方で、私も皆さんも緊張の割には楽しくお迎え出来たのではないのでしょうか。歓迎会もガバナーは次があるので「1杯だけ」とおしゃっておりましたが、私の見ている限りでは少なくとも3杯以上は飲んでいたような気がします。皆さんも例の件を含めてざっくばらんにお話しされた事によって、多分お二方にとって気楽に我々と接する事が出来たと思われま

す。私も熱海で会長職時代、同じように公式訪問を受けましたが、緊張のカタマリで、こんなに楽しく受ける事が出来るとは思いませんでした。新しい会員さん5名の質問事項も含めて皆さんのご協力に感謝いたします。

なんかやっぱり楽しくとは言っても、ガバナー公式訪問が終わるとホッと一息ですよ。ところで私は来週、大阪の友人のイベントがあり例会を欠席させていただきます。伊藤副会長にはお手数をおかけしますが宜しくお願いします。もちろん以前から注文されている留守時の原稿は用意させていただきます。

又月曜日は地区のゴルフコンペに、望月、渡辺、吉村会員の4名で参加させていただきます。天気がいまいち心配ですが、ハンディー36の私がシングルハンディーでグラチャンのお二人の足をどう引っ張らないようにするかの方がもっと心配です。湯河原クラブ代表で頑張ってきます。

又月曜日は地区のゴルフコンペに、望月、渡辺、吉村会員の4名で参加させていただきます。天気がいまいち心配ですが、ハンディー36の私がシングルハンディーでグラチャンのお二人の足をどう引っ張らないようにするかの方がもっと心配です。湯河原クラブ代表で頑張ってきます。

又月曜日は地区のゴルフコンペに、望月、渡辺、吉村会員の4名で参加させていただきます。天気がいまいち心配ですが、ハンディー36の私がシングルハンディーでグラチャンのお二人の足をどう引っ張らないようにするかの方がもっと心配です。湯河原クラブ代表で頑張ってきます。

出席報告

会員	23 名	出席率	77.27 %
欠席	6 名	前回の修正出席率	90.91 %
(免除者)	1 名)	前々回の修正出席率	81.82 %
ゲスト	1 名	事前メイクアップ	0 名
ビジター	0 名		

ゲスト ゆるかわふう 様(光彫り作家)

幹事報告

国際ロータリー日本事務局より

1.9月のロータリーレート 1ドル139円

ガバナーより

1.2022~2023年 第2780地区 地区大会

10月15日(土)

会長・幹事会 13:35~15:00

地区指導者育成セミナー 15:30~16:45

RI会長代理歓迎晩餐会 17:30~19:30

会場:レンブラントホテル東京町田

10月16日(日)

本会議 12:30~17:00

会場:相模原市民会館

大懇親会 17:15~18:30

会場:けやき会館

登録締切:9月20日(火)

2.地区大会・指導者育成セミナーのご案内

日時:10月15日(土)15:30~16:45

場所:レンブラントホテル東京町田

対象者:会長・幹事・地区役員

登録締切:9月20日(火)

3.地区大会・新世代交流会のお知らせ

日時:10月16日(日)9:30~11:00

場所:相模原市けやき会館5階大樹の間

回答期限:9月20日(火)

湯河原国際交流協会より

1.助成金のお願い 一金10,000円

連絡事項 なし

スマイル Box

入会記念日 櫻井武志君(5年・H29.7.7)

葉 維英君

古川様、本日ご講演頂きましてありがとうございます。楽しみにしております。



こんにちは。本日は「温泉とアート」と題して、お話をさせていただきます。

1. 光彫り作品ができるまで

私は 1980 年、大阪にて、美術家を両親に持つ家庭に生まれ、10 代のころまでは建築家になろうと思っていました。東京芸術大学に進み、建築を志す中で、建築模型

を製作する材料として発砲断熱材(スタイロフォーム)と出会いました。学業を進めていくうちに「美術系」への進学を決意し、布施英利(ふせ・ひでと)先生が教官を務める「美術解剖学研究室」の門を叩きました。この研究室は明治時代に森鷗外が創設した歴史ある研究室で、「美術は自然に学べ」という理念を持っています。私は庭園芸術の研究を始めつつ、ダイビングを本格的に始め、海の観察にも没頭していきました。

2008 年、大学の助手に着任し、東京から真鶴へ転居しました。同年、美術解剖学研究室の有志でグループ展を開催することとなりましたが、当初私は建築しかやって来なかったため、建築模型や設計図面はあっても「作品」というものはありませんでした。ここで「断熱材を彫り、光を当て、海の中の光景を再現することはできないか？」というインスピレーションが降り、作品制作が始まりました。最初の作品(茶室 海鼠庵(2008))は海の中の茶室、海鼠(なまこ)の視点で海中の青い世界を眺めるというもので、ダイビングや美術解剖学での経験が反映されています。

2. 湯河原と光彫り

美術解剖学研究室の布施先生は湯河原(宮上)の廃旅館を自力でリノベーションし、生活していました。その自由自在な生き方に私は感銘を受け、大学時代からよく訪れていました。私と湯河原の縁はそこから始まったといえます。様々な仕事に取り組む内、2014年には湯河原の旧・湯河原幼稚園跡地にアトリエを構えることとなり、本格的に光彫り作品を制作する態勢が整いました。そして 2015 年、第2回湯河原真鶴アート散歩への参加のため、クジラをテーマとした作品を出展し、好評を得ました。以降、2018 年には町立湯河原美術館にて個展を開催、観光会館ちょうちんウォーク、富士屋旅館、幕山公園(管理棟2階)、大蔵彌太郎氏とのコラボレーション(奏×狂言)、エキシブ湯河原離宮など、湯河原における多彩なコラボレーションを実践して参りました。

3. 温泉とアート

さて、湯河原を拠点に創作活動を進めるうちに、美術館などでの出展・発表のみならず、湯河原の魅力を生かしつつ、「温泉とアート」を一つのテーマとし、ひとりでリラックスしている時に見て、癒され、別世界に来たような感覚になれる作品を制作していくスタイルを着想いたしました。「温泉とアート」活動の先駆けとしては、新潟県「光の館」、道後温泉「蜷川実花」、有馬温泉「路地裏アートプロジェクト」などが知られていますが、いずれの活動からも、もっと温泉地から発信できることがあるのではないか、と感じています。

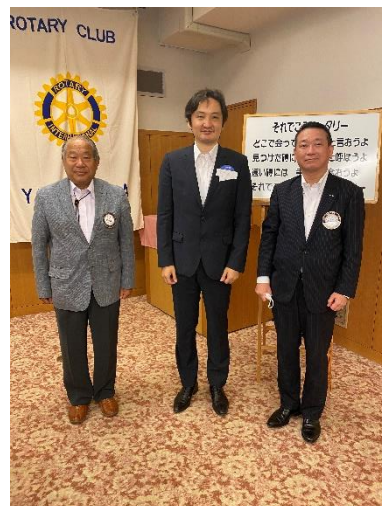
そして 2022 年、湯河原の「源泉上野屋」の一棟貸しの新館「上野屋別邸」とコラボレーションし、館内に多数の作品を展示しています。こだわりは展示箇所でも、お客様の滞在時間が最も長くなるリビングではなく、プライベート性の高い空間(寝室、風呂、トイレ)に展示することとしました。本日は館内の写真をご覧に入れることが精一杯ですので、実際の迫力、雰囲気はぜひ実際に「上野屋別邸」を利用され、体験していただきたいと思います。

4. 湯河原から世界へ

最後に現在の私の活動について触れたいと思います。作品制作はもとより、メディアへの出演も積極的に行っています。主なところとしては、日本テレビ系列のお昼の情報番組「ヒルナンデス」、日本テレビ系「ぶらり途中下車の旅」、フジテレビ「めざましテレビ」、ラジオでは FM 熱海湯河原、ニッポン放送などへ出演しました。そして 2022 年 1 月から 3 月まで、神戸ファッション美術館において特別展を開催し、好評を博しました。今後の予定としては、本年 11 月 12 日から 12 月 25 日まで、横浜そごう 6 階のそごう美術館、さらに 2023 年 5 月から 7 月まで、福岡アジア美術館にて個展を開催する予定です。

現在、横浜での個展に向けて作品を制作中です。今回特別に制作中の作品の写真をご覧にしたいと思います。この作品には湯河原から横浜へ、そして世界へ羽ばたくことを願う気持ちを込めています。

本日はありがとうございました。



(文・編集:葉維英(9月会報担当)/クラブ会報委員会)